



NEUMANN、MT 48 のオーディオインターフェイス機能をアップグレード

Monitor Mission をリリース、イマーシブオーディオインターフェイスに対応

2024 年 4 月 4 日

ゼンハイザージャパン株式会社

(本資料は、ベルリン 2024 年 1 月 25 日に Georg Neumann GmbH より発表されたプレスリリースの抄訳です)



スタジオ機器の伝説的スペシャリストである Neumann.Berlin は NAMM 2024 において、昨年リリースされた MT 48 オーディオインターフェイスの機能アップグレードを発表しました。新たに搭載された Monitor Mission は、MT 48 を自由に構成可能なモニタリングコントローラーに転換します。Monitor Mission は、モノラル/ステレオだけでなく、5.1ch などのサラウンドフォーマットや、Dolby Atmos 7.1.4 などの非常に人気の高いイマーシブオーディオフォーマットにも対応します。これにより、特にミキシングとマスタリングの分野で全く新しい応用が可能になります。

今回搭載された Monitor Mission には柔軟なベースマネジメント機能と、スピーカーの周波数およびタイムドメイン特性をリスニング位置に調整するための複雑なアラインメント機能を提供します。また、ダウンミックス機能を利用することで、マルチチャンネルオーディオをモノラルまたはステレオでモニターできます。



Monitor Mission が提供する幅広い接続オプションにより、S/PDIF または ADAT を通じてアナログ、デジタルを問わずにさまざまな方法でスタジオモニターを接続できます。また、1組のスピーカーグループで複数の接続タイプを組み合わせることも可能です。アナログモニター出力と外部 ADAT コンバーターを利用することで、最大で 7.1.4ch のシステムを実現できます。さらに、内蔵の AES67 インターフェイスにより、Merging Hapi MKII などの高度にプロフェッショナルなマルチチャンネルコンバーターや、AES67 バージョンの Neumann スタジオモニターの接続にも対応します。これにより、ほぼ任意の数のチャンネルを実現できます。



Neumann の製品責任者 ステファン・マウアー (Stephan Mauer) は次のように述べています。「Monitor Mission は、MT 48 をイマースブオーディオインターフェイスに変えます。姉妹製品である Merging Anubis を除き、Monitor Mission は事実上、すでに無数のプロフェッショナルセットアップにおいて他の追随を許さないものとしてその実力を証明しています。したがって、ユーザーは完璧なソリューションを得られたと確信できます。さらに、MT 48 は Anubis に比べて接続性が拡張されているため、あらゆる規模のスタジオにとって、イマースブソリューションがより柔軟で手頃なものとなります。統合型の AES67 のサポートとクラス準拠の USB IO を備える MT 48 は、簡単に統合できる完璧なインターフェイスです」

価格と発売予定

Monitor Mission は、本年 2 月にリリースされたバージョン 1.6.x 以降の MT 48 ファームウェアの一部であり、ダウンロードは必要ありません。Monitor Mission の有効化には個別のソフトウェアキーが使用されます。お手持ちの MT 48 を 2024 年 7 月 1 日より前にメーカーに登録したユーザーには、Monitor Mission の有効化キーが無償で提供されます。

詳細情報：

<https://www.neumann.com/ja-jp/products/audio-interfaces/mt-48/>



Monitor Mission の特長：

- イマーシブオーディオインターフェイスおよびモニターコントローラー
- モノラル、ステレオ、サラウンド、イマーシブオーディオに対応
- ヘッドホン再生などのためのダウンミックス
- 柔軟なベースマネジメント管理
- ルームアライメント用に接続スピーカーの周波数とタイムドメインを個別調整
- リモートアプリケーションと Web ブラウザコントロールのサポート
- スタンドアロンで操作、およびクラス・コンプライアント接続

■Neumann について

「Neumann.Berlin」の名で知られる Georg Neumann GmbH は、スタジオグレードのオーディオ機器に特化した世界的なトップメーカーであり、U 47、M 49、U 67、U 87 をはじめとするレコーディング用マイクロフォンの伝説的な名機の生みの親としても知られています。1928 年の創業以来、Neumann.Berlin は数々の技術的イノベーションを起こし、いくつもの国際的な賞を授与されてきました。専門は電気音響変換機の開発ですが、2010 年よりテレビやラジオ放送、レコーディング、オーディオ制作といった市場向けのスタジオモニター製品開発も手掛けています。Neumann 初のスタジオヘッドフォンは 2019 年初頭にリリースされ、2022 年以降はライブオーディオ用の、リファレンスクラスのソリューションに力を入れています。Georg Neumann GmbH は 1991 年より Sennheiser グループの傘下に入り、製品は現在、Sennheiser が世界中で展開する拠点ネットワークのほか、長期的な関係を構築してきた販売代理店を通じて各国で販売されています。

■当プレスリリースに関するお問い合わせ：

ゼンハイザージャパン株式会社 広報担当
株式会社プレインズ・カンパニー
担当：中村・西田・坂川・齋藤
TEL：03-4580-9156 / MAIL：sennheiser@pjbc.co.jp

本プレスリリース掲載の写真は[こちら](#)からダウンロードいただけます。